

建設に対する対策に補助制度は有効な手段であり、創生会議の中で定住対策も含めて、現状を把握することが大前提であると考えている。

質問 各地域の集会施設を、移住などのためのお試し施設として利用する考えはないか。

町長 現在は各町内会に指定管理をしており、現状では難しい。

質問 若い人の働く場について、若い世代が集まってくるまちづくりには、シングルマザーの夜勤が出来る環境づくりとして子どもが宿泊出来る施設整備を考えてはどうか。また、若い世代の結婚、出産などを進めるために祝い金を出し、幌延町に女性の指数を高め、活気があって笑顔が出るまちづくりを推めるべき。

町長 お子さんを預かり、泊まれる施設の需要が多いとは認識していないが、移住施策の1つではある。出産に対する助成についても、出生率を向上させる1つの方法と考える。女性の雇用の場を創る環境づくりが必要ではないか。

質問 高齢者単身世帯が年々増える中、集団で生活出来る



施設を整備し、幌延町に少しでも長く住んでもらうことを進めるべきではないか。

町長 総合的に検討したいと考えている。福祉全般も含めて、議論を深めて行く。

名林公園の利用について

質問 巨木があり、貴重な存在だと思うが、土地所有が財務省であるので、町の財産として譲渡してもらい、存続のための整備をする方向にしてはどうか。

町長 無償賃貸の形で町で管理をしており、巨木の延命措置をすることに変わりはない。



驚見 悟

・町政を聞く 新町長の施策は

深地層研究計画について

質問 幌延町として500m以上の工事要請と、研究年限はどうなるのか。

町長 当初計画に沿って進められると思う。

質問 幌延深地層研究センターの所長は延ばすことが出来るかと述べているが、町長はどう考えているのか。

町長 その時は多分相談がある。町民や議員の皆さんに相談して進める。

質問 研究年限と埋め戻しの時期はどうなるか。

町長 今、延ばすとか延ばさないとかという認識はない。

質問 6月1日、札幌市で行われた国の資源エネルギー庁の核ゴミ処分場説明会に、どのような立場で参加したのか。

町長 情報収集をする目的で、職員を参加させた。

質問 今後も参加させるのか。担当を決めたのか。

副町長 総務課の企画振興グループが担当する。

質問 全道1百79自治体の内64自治体が参加したが、5月22日の閣議決定をする前から全国的にメールを流し、行っている。幌延町にはいつ連絡来たのか。

総務課長 説明会の案内は、5月7日と15日に来た。

質問 高橋はるみ知事もマスコミに、非公開については問題があると述べているが。

町長 ボタンの掛け違いはあると、個人的には思うが、私共が口をはさむことではない。

住民の暮らしと生活について

質問 地方創生の掛け声の中

で、住民の暮らしは良くなっていない。町長として、何を考えているのか。

町長 本町においても高齢者支援事業や福祉灯油事業、公衆浴場の減免、中学生までの子ども医療費の無料化などに取り組んで来た。高校生の医療費の無料化を検討したい。

質問 地域の空き家対策が叫ばれて久しいが、空き家バンクや解体補助などは考えられないか。

町長 必要な制度であるとは思っている。まず、現状を把握したい。

質問 公営住宅の空き状況並

